

日の出だより Vol.44

秋を楽しみませんか？

【味覚】いも掘り体験
家族やグループで楽しいひとときを

■実施期間／10月～11月初旬
■料金／1株150円（おいも2～4個くらい）
※団体予約には、いも焼き機の貸出し可能
■問い合わせ先／日の出町役場 産業観光課係
TEL.042-597-0511（内線 241・242）
http://www.town.hinode.tokyo.jp/



【温泉】つつる温泉／露天風呂で心と体をリフレッシュ

■営業時間／10時～20時（受付は19時まで）
■定休日／火曜（休日の場合は翌日）
■入館料／大人 800 円（3時間）、子ども 400 円（未就学児無料）
■住所／西多摩郡日の出町大久野 4718 TEL.042-597-1126
■交通／JR 武蔵五日市駅よりバス「つつる温泉」行きで20分
自動車：圏央道日の出インターから約20分。駐車場あり



新理事 就任の挨拶

新理事 **阿部 裕行**（多摩市）

多摩市をはじめ多摩地域のごみ処理につきましては、日の出町の皆様のご理解、ご協力にあらためて深く感謝申し上げます。当市では、平成20年度より家庭系ごみの有料化を実施し、市民と共に大幅なごみ減量を進めています。今後とも資源循環型社会の実現に向け、組合理事の職責を果たしてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。



新理事 **藤野 勝**（武蔵村山市）

日ごろから、日の出町の皆様には、当市のごみ処理につきまして多大なる御理解と御協力を賜りまして、心から感謝申し上げます。

当市におきましては、これまで、東京たま広域資源循環組合のごみ処理施設に対する負荷を軽減するため、ごみの減量と資源化の向上に取り組んできております。

今後は、ごみ減量に向けて、新理事としての役割も果たしていきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。



Report 東京都廃棄物埋立処分場を紹介します

循環組合と都では「埋立処分場からの情報発信」をテーマに交流を深めています。都が設置・管理する中央防波堤外側埋立処分場と新海面処分場では、23区内で発生する一般廃棄物の処理残などを埋立処分しています。多摩地域同様、今後新たな処分場を確保することは極めて困難です。都と23区では、処分場の延命化に向けてごみ減量の諸施策を展開しています。都の処分場には、ごみ問題だけでなく地球温暖化など幅広い環境問題についても学習できるよう「環境学習ホール」などの展示施設があり、年間約7万人の見学者が訪れています。循環組合のエコセメントもここに展示されています。また、東京港のかつてのごみの埋立地を緑豊かな森に変える「海の森」プロジェクトも進んでいます。



東京都廃棄物埋立処分場

緑の東京募金

「緑の東京募金」は、みなさまのご賛同とご協力で東京を緑あふれるまちにするための募金です。お寄せいただいた募金は「海の森の整備」「街路樹の倍增」「校庭の芝生化」「花粉の少ない森づくり」の4つの事業に使われます。

【問い合わせ先】

緑の東京募金実行委員会事務局（東京都環境局内）
TEL.03-5388-3595
http://www.midorinotokyo-bokin.jp



東京たま広域資源循環組合

TEL 042-385-5947 FAX 042-384-8449 循環組合は組織団体からの負担金で運営されています

循環組合 組織団体	八王子市 調布市 国分寺市 多摩市	立川市 町田市 福生市 稲城市	武蔵野市 小金井市 狛江市 羽村市	三鷹市 小平市 東大和市 西東京市	青梅市 東村山市 清瀬市 瑞穂町	府中市 東村山市 東久留米市 武蔵村山市	昭島市 国分寺市 武蔵村山市
--------------	----------------------------	--------------------------	----------------------------	----------------------------	---------------------------	-------------------------------	----------------------

Info 家族で楽しむ マス釣り～参加者募集～

マス釣り、魚のつかみ取りなど、
家族を対象としたイベントです。

■日 時 平成22年11月6日（土）11時～15時（雨天決行）
■場 所 秋川国際マス釣り場（あきる野市養沢）
※JR武蔵五日市駅から無料送迎バスあり
■内 容 マス釣り体験（軽食付き）
■定 員 300人（申し込み多数の場合は抽選）
■参加費 大人（高校生以上）1,000円、子ども（中学生以下）500円
■申込み方法 はがきに住所、氏名、電話番号、参加家族人数（大人、子ども）、利用交通機関（電車・自家用車）、マス釣り体験人数（大人、子ども）を記入の上、下記にお送りください。
■申し込み締切 10月15日（金）必着

■申し込み・問い合わせ先
〒190-0164 あきる野市五日市400
秋川漁業協同組合 TEL.042-596-2215



循環組合の動き

平成22年	
3月31日（水）	第3自治会谷戸沢処分場監視委員会
4月5日（月）	第22自治会ニッ塚処分場対策委員会
4月13日（火）	谷戸沢処分場水質等調査結果公表（平成21年度第3四半期分） ニッ塚処分場水質等調査結果公表（平成21年度第3四半期分） エコセメント化施設水質等調査結果公表（平成21年度第3四半期分）
5月19日（水）	ニッ塚処分場敷地内大気中ダイオキシン類調査実施
5月25日（火）	第23回循環組合技術委員会
6月17日（木）	第27回環境保全調査委員会
6月22日（火）	第3自治会谷戸沢処分場監視委員会
6月29日（火）	第22自治会ニッ塚処分場対策委員会
7月6日（火）	谷戸沢処分場水質等調査結果公表（平成21年度分） ニッ塚処分場水質等調査結果公表（平成21年度分） エコセメント化施設水質等調査結果公表（平成21年度分） ダイオキシン類調査結果公表（平成21年度分）
8月24日（火）	第34回谷戸沢処分場環境影響評価委員会

谷戸沢処分場・ニッ塚処分場・エコセメント化施設水質等調査
谷戸沢処分場・ニッ塚処分場・エコセメント化施設では、日の出町および地元自治体と締結した公害防止協定に基づき、厳格な調査を定期的に実施し、周辺環境に影響を及ぼさないように管理しています。調査結果はホームページで公表しています。

ニッ塚処分場敷地内大気中ダイオキシン類調査
平成9年から処分場敷地内の4地点を対象に、年4回大気中ダイオキシン類の調査を実施しています。調査結果はホームページで公表しています。

ごみ減量アイデア

●マイバッグを自転車にも

買い物の時に、できるだけレジ袋をもらわないように家族で心がけています。そこで車の中、自転車のかごなどにマイバッグを入れています。マイバッグを持たずに出かけた時や、コンビニでのちょっとした買い物でも、袋をもらわなくて済みます。（日野市・女性）

●段ボールと紙袋を再利用

適当な大きさの段ボール箱の表面に、お気に入りの上質な紙袋を貼り付けて、本棚や収納箱として利用しています。（小平市・女性）

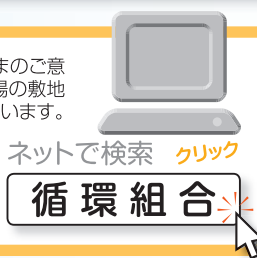
あなたの**アイデア**募集!! 下記の循環組合「たまエコニュース」係までお送りください。掲載された方には記念品を差し上げます。

『たまエコニュース』次号は
平成23年3月27日発行予定です

「たまエコニュース」の内容やごみ処理に関するお考えなど、みなさまのご意見をお手紙、FAX、電子メールでお聞かせください。また、処分場の敷地内や周辺の土壌、水質など環境調査の結果をホームページで公表しています。

〒183-0052 東京都府中市新町2-77-1 東京自治会館内
東京たま広域資源循環組合「たまエコニュース」係
【メールアドレス】sjkumiai@tama-junkankumiai.com

http://www.tama-junkankumiai.com



多摩400万人のごみ情報紙

たまエコ ニュース

2010 SEP. VOL. 52

発行: 東京たま広域資源循環組合
【事務局】〒183-0052 東京都府中市新町2-77-1 東京自治会館内
TEL: 042-385-5947 FAX: 042-384-8449

「循環組合」とは…

ニッ塚処分場・谷戸沢処分場（日の出町）を管理・運営している特別地方公共団体で、日の出町のみなさまの協力を得ながら、多摩地域25市1町の約400万人の可燃ごみの焼却灰をエコセメントとしてリサイクルし、資源として活用しています。また、不燃ごみの埋立をしています。みなさまと共にごみ問題の解決に取り組んでいます。

エコセメント事業が順調に進行

ニッ塚処分場の埋立量が さらに削減しています！

処分場への埋立量は
前年度に比べ
約33%も削減しました！

多摩地域25市1町から出されるごみは、それぞれの自治体が運営する清掃工場（中間処理施設）に運ばれて処理されます。ここでは、可燃ごみは焼却灰に、不燃ごみは細かく破碎処理されます。そして、日の出町にあるニッ塚処分場に運ばれて、可燃ごみ焼却灰はエコセメントにリサイクルされ、不燃ごみは埋め立てられます。

多摩地域住民のみなさんのごみ減量や資源化などの取り組みによって、処分場に埋め立てられるごみの容量は、平成12年度以降、9年連続で減少しています。

平成21年度の埋立量は4,362m³で、前年度と比べて約33%も減少しました。平成12年度と比べると、容量でなんと約97%も少なくなっています。

可燃ごみ焼却灰は
エコセメントにリサイクルされ
埋め立てるのは不燃ごみだけ

循環組合では、資源循環型の社会づくりを推進するために、可燃ごみの焼却灰からセメントを作る「エコセメント事業」に取り組んでいます。平成18年7月に「東京たまエコセメント化施設」が本格稼働してから、それまで埋め立てるしかなかったごみ焼却灰が、全量資源としてリサイクルされることになりました。

エコセメント事業によって処分場への埋立は不燃ごみだけとなった結果、埋立量の大幅な削減が実現しています。

しかし、処分場では今も不燃ごみの埋立が続いています。限られた処分場の空間を有効に利用していくために、さらなるごみ減量や資源化に、引き続きご協力ください。

エコセメント 通信

東京たまエコセメント化施設の煙突から見える白い煙は、水蒸気が冷やされ、小さな水滴が雲状に広がったものです。

施設の建設にあたり「景観に配慮するため、煙突から白煙を見せないように運転すること」を東京都に届け、そのために燃料を使ってきました。

しかし、近年地球温暖化防止の重要性が高まり、CO₂排出量を抑制するために白煙防止を行わない施設の建設が主流となってきました。

地球温暖化対策をリードする エコセメント化施設

東京都からは「CO₂排出量を削減するため、白煙防止のために灯油を燃焼することをやめるべき」とのアドバイスを受け、循環組合はこの冬から、白煙防止をやめることにしました。

これにより、冬季期間中のCO₂量は約180トン削減されます。これは、一般家庭（自動車等除く）の約200世帯分が冬季期間に排出するCO₂排出量に相当します。また、白煙が見えたときの排ガス状況についても、協定基準値を遵守しています。

煙突からの白煙は
水です

やかんでお湯を沸かすと、注ぎ口から白い煙が見えることがあります。これは、水蒸気がまわりの空気で冷やされて細かな水滴となって、白く見えるものです。エコセメント化施設の煙突から見える白煙も、これと同じ原理です。



この冬以降、煙突から白い煙が見えるようになります

多摩ECOピープル

お友だち同士で参加した2組の親子の感想をご紹介します

夏休み処分場見学会に参加しました！

エコセメントのことは耳にしていたものの、ごみ焼却灰の全量が活用されていることは、今回初めて知りました。実際に埋立地を見て、「最後はここに埋められるんだ」と意識することができ、ごみ減量や分別を、さらに心がけようと思いました。

町田市 福恵千津子さん
瑤くん（小4）



ごみがどんなふう処理されているか実際に現場を見ると、ごみ減量や分別の意識も高まります。谷戸沢処分場に動植物がたくさんいることにも驚きました。家庭では、使わなくなったおもちゃや洋服を近所の方々や譲り合うなど、リユース（再利用）を心がけています。

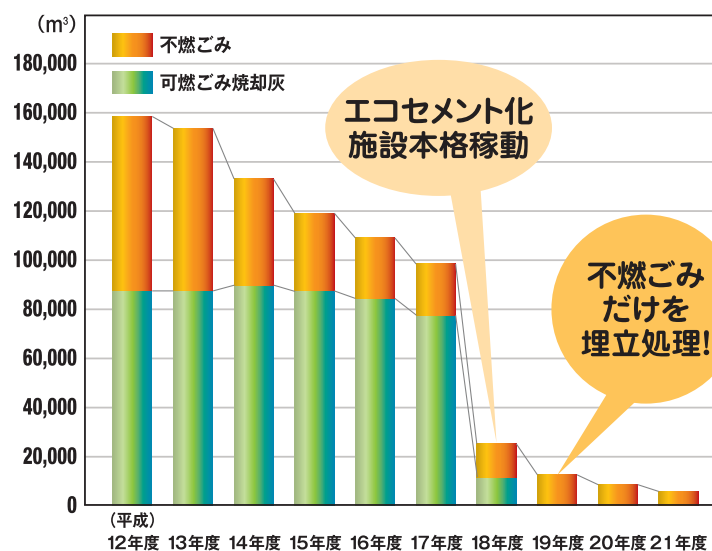
町田市 鶴田由美さん
彩織さん（小4）



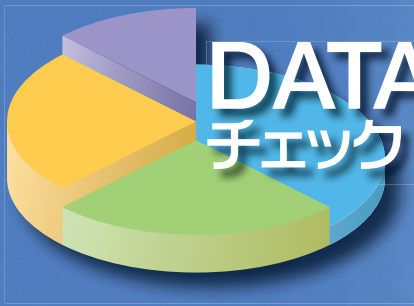
●あなたのエコライフをお寄せください（宛先は裏表紙をご参照ください）

ニッ塚処分場の埋立量の推移

ニッ塚処分場に埋め立てられた
可燃ごみ焼却灰と不燃ごみの量の推移



平成18年7月から本格稼働している東京たまエコセメント化施設



多摩25市1町が一体となって、さらなるごみ減量を!!

多摩地域では、住民のみなさんのごみ問題への意識が高く、ごみ減量の活動も積極的に行われています。その活動は着実に成果を上げています。

平成21年度日の出町二ツ塚廃棄物広域処分場・エコセメント化施設搬入状況実績については、ホームページでも公開しています。
<http://www.tama-junkankumiai.com/works/carrying/2009.html>

平成21年度 組織団体別廃棄物搬入量

組織団体 (25 市 1 町) 各市町の人口と
二ツ塚処分場およびエコセメント化施設への廃棄物搬入量

組 織 団 体	人 口 (人) 平成 21 年 10 月 1 日現在	搬 入 量 (トン)
八 王 子 市	560,631	10,193
立 川 市	178,151	5,478
武 蔵 野 市	137,551	3,246
三 鷹 市	180,005	1,895
青 梅 市	139,744	2,875
府 中 市	249,893	2,357
昭 島 市	113,227	2,342
調 布 市	220,875	3,068
町 田 市	422,112	8,506
小 金 井 市	113,738	1,592
小 平 市	183,889	4,759
日 野 市	176,586	4,091
東 村 山 市	151,838	2,986
国 分 寺 市	118,209	2,415
国 立 市	74,364	766
福 生 市	60,696	1,358
狛 江 市	77,210	702
東 大 和 市	83,466	2,086
清 瀬 市	73,733	1,698
東 久 留 米 市	116,619	3,033
武 蔵 村 山 市	71,084	1,853
多 摩 市	148,021	3,519
稲 城 市	83,044	837
羽 村 市	57,491	1,179
西 東 京 市	194,693	4,310
瑞 穂 町	34,348	906
合 計	4,021,218 人	78,050 トン

※搬入量は小数点以下を四捨五入しており、端数調整を行っている
※人口：「住民基本台帳による世帯と人口」東京都総務局統計部

多摩25市1町で収集されたごみの量は 前年度と比べて44,000トンも削減しました

平成21年度の1年間で、二ツ塚処分場に持ち込まれたごみの量(搬入量)は、可燃ごみの焼却灰と不燃ごみを合わせて78,050トンでした。前年と比較すると5,742トン、約7%の減少になりました。処分場に埋め立てなければならない不燃ごみの搬入量は2,912トン、前年度比では約29.6%と大きく削減しました。

また、多摩25市1町で収集されるごみの量については、前年度と比べて、可燃ごみは34,678トン減の765,141トンに、不燃ごみは2,030トン減の88,006トンでした。人口は、1年間で24,005人増加しているので、住民1人が出すごみの量が確実に減っているのがわかります。こうしたことから、多摩地域のごみ問題への意識の高さがうかがえます。

ごみの搬入量

	平成18年度 96,554 トン	平成19年度 89,102 トン	平成20年度 83,792 トン	平成21年度 78,050 トン
--	---------------------	---------------------	---------------------	---------------------

約7%
減!!

25市1町の総ごみ量比較

総ごみ量とは、市町による収集ごみと、許可業者等が収集して市町の処理施設に搬入する持込ごみを合わせた量

	平成20年度	平成21年度	前年度比較
人 口 (人)	3,997,213	4,021,218	+24,005
可 燃 (トン)	799,819	765,141	-34,678
不 燃 (トン)	90,036	88,006	-2,030
資 源 (トン)	240,976	234,901	-6,075
粗 大 (トン)	28,288	26,795	-1,493
有 害 (トン)	1,603	1,613	+10
合 計	1,160,722 トン	1,116,456 トン	-44,266 トン

※組合組織構成団体25市1町の合計の数値
※「多摩地域ごみ実態調査(平成21年度統計)」(財団法人東京市町村自治調査会)

今も不燃ごみの埋立は続いています さらなるごみ減量を心がけましょう

循環組合が取り組む「エコセメント事業」は、多摩地域の資源循環型の社会づくりを推進しています。可燃ごみ焼却灰はエコセメントとなり、道路の側溝や緑石、建物用の鉄筋コンクリートなどに生まれ変わります。それにより、新たな物質循環のモデルが構築され、多摩地域の資源化率を大幅に伸ばすことに役立っています。

しかし、二ツ塚処分場では、現在も不燃ごみの埋立が続いています。二ツ塚処分場は平成21年度までに約44.3%の埋立を終了しています。限りある処分場を有効に利用するためにも、多摩地域の一人ひとりが、より一層のごみ減量や資源化、そして再利用に取り組むことが不可欠です。さらなるごみ減量にご協力ください。

エコセメント製品は、歩道の舗装材や緑石など、さまざまな分野で使われています(日の出町・三吉野桜木中央公園)



不燃ごみが埋め立てられている二ツ塚処分場、奥に見えるのがエコセメント化施設

どこに行くの?

わたしたちが出したごみのゆくえ 夏休み処分場見学会を行いました

毎年恒例の「夏休み処分場見学会」を8月6日(金)、19日(木)に実施しました。今年は親子を含む74名の方々にご参加いただきました。

見学会ではまず、家庭から出されたごみが集められている、多摩地域の清掃工場を訪れました。ここでは、可燃ごみは焼却され、不燃ごみは小さく破碎されるなど、ごみの種類に応じた処理が行われている様子を見学しました。ごみをちゃんと分別することは、ごみの減量とリサイクルのためにも大切だということをあらためて学びました。

午後は、日の出町の二ツ塚処分場で可燃ごみ焼却灰をリサイクルするエコセメント化施設と、不燃ごみ埋立区域などを見学。その後、埋立が終了した谷戸沢処分場を訪れ、環境指導員の方から周辺の動植物について説明を受けました。参加者は散策しながら虫や鳥を探すなど、谷戸沢の自然に触れました。

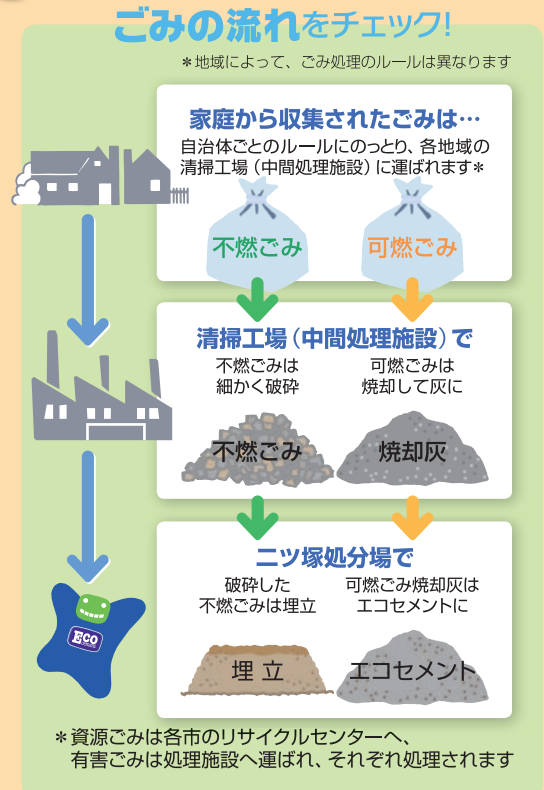
家庭から出されたごみは、どこでどのように処理されるのか、現地で学んだ一日でした。



清掃工場では、家庭から出されたごみがどのように処理されているのか説明を聞き、ごみを集めるビッドなどを見学しました



エコセメント化施設では、焼却灰のビッドの見学やジオラマを使った説明のほか、屋上から二ツ塚処分場の埋立状況を見学



埋立が終了した谷戸沢処分場を散策しました

『第4次廃棄物減容(量)化基本計画』まとまる

循環組合では、計画的に最終処分場の延命化を図るため、平成5年から3次にわたって「廃棄物減容(量)化基本計画」を策定し、組織団体(多摩地域25市1町)に対してごみの減量化を促してきました。

さらに、平成18年7月からはエコセメント化施設が稼働し、それまで埋め立てていた焼却灰を全量リサイクルできるようになったことから、現在は不燃ごみのみを二ツ塚処分場に埋め立てています。

こうした取り組みにより、当面は最終処分場が満杯となる懸念はなくなりましたが、将来的には、多摩地域に新たな最終処分場を確保することは極めて困難な状況にあります。

そこで、当組合では、多摩400万人の暮らしを支える最終処分場を今後も可能な限り活用し、維持していくため、このたび「第4次廃棄物減容(量)化基本計画」を策定しました。

- 計画の目的
(1)二ツ塚処分場の延命化
不燃ごみの減容(量)化を引き続き推進し、二ツ塚処分場の使用期間の延伸に努めます。
- (2)エコセメント化施設の安定的かつ効率的な運用
焼却灰の減容(量)化を引き続き推進し、エコセメント化施設の安定的かつ効率的な運転に努めます。
- 計画期間
平成23年度から平成27年度までの5年間
- 対象団体
循環組合、および組織団体25市1町
- 対象範囲
循環組合が行う二ツ塚処分場埋立管理事業、およびエコセメント事業
- 計画目標
焼却灰：平成27年度の搬入量を平成22年度比で10%減容(量)
不燃ごみ：平成27年度の搬入量を平成22年度比で10%減容(量)

ごみ減量レポート 多摩25市1町のごみ減量の取り組みをご紹介します

稲 城市

人口:84,266人
(平成22年8月現在)

「ごみの水切り体験」で 家庭からのごみ削減をアピール

稲城市では、平成16年10月からごみ収集に指定収集袋制(有料化)を導入しました。これによりごみ量は減少しましたが、さらなる削減のため「生ごみの水切り」を呼びかけています。昨年は「いなぎ市民祭」と「稲城くらしフェスタ」で、稲城市廃棄物減量等推進員の協力のもと、疑似生ごみの水切り体験を行いました。これは、ネットに入れた疑似生ごみの水を絞って、絞らない場合との重さを比べるもの。「体験した方は、ひと絞りするだけでずいぶん量が減ることに驚いていました」と環境課ごみ減量・リサイクル係。イベントでは、ごみ・資源物分別クイズなども行い、市民のみなさんへごみ減量を呼びかけました。

市の図書館では、保存年限の切れた雑誌等を市民に無料で頒布するリサイクル会を実施しています。昨年は4館で実施し、雑誌1冊あたり700gで計算すると、約5トンものごみが再利用されたことになります。また、市内のリサイクルショップでは、市内で回収した古紙をもとにした再生トイレットペーパー「稲城っ子」や、廃油から作った石けんなども販売しています。



図書館のリサイクル会。先着順で、開催日を楽しみにしている方も多いといひます

環境保全に取り組んでいます

谷戸沢処分場

トウキョウサンショウウオが倍增



▲トウキョウサンショウウオ(成体)
▶卵のう



▲羽化したオオムラサキ
▶羽化の様子

昭和59年から平成10年まで、多摩地域のごみを埋め立てていた谷戸沢処分場は、現在自然回復が進み、埋立跡地は22ヘクタールもの広大な草原等になっています。場内では、環境省のレッドリスト(絶滅のおそれのある野生生物の種のリスト)に掲載されている「トウキョウサンショウウオ」が生息しています。循環組合では、埋立開始以前から継続して、トウキョウサンショウウオの卵のうの数を調査してきました。今年は、昨年の84個の倍となる167個を確認し、順調に増加していることがわかりました。

また昨年、国蝶であるオオムラサキの飛翔が確認されたのに続き、今年は場内で保護し育てた幼虫が6月に羽化し、無事飛び立っていきました。

二ツ塚処分場

小学生がポット苗を育成

二ツ塚処分場では、処分場内の約4割にあたる緑地をスギやヒノキの林から、広葉樹も茂る多種混交林への転換を進めています。平成19年度から、多摩地域の小学生が地元産のドングリなどをポット苗として生長させ、この苗を補植しています。平成21年度は東久留米市立第六小学校和福生市立第五小学校、平成22年度は国分寺市立第八小学校の5年生が参加して、2年にわたりポット苗を育成して二ツ塚処分場の林内に補植する予定です。

「環境報告書 2010」を公表

循環組合では、環境方針に基づいて、平成21年度に取り組んだ環境保全に向けた取り組みの内容や成果を「環境報告書 2010」としてまとめました。ホームページで閲覧、ダウンロードが可能です。